

# 日本語2字漢字単語における 韓国語漢字との形態・音韻類似性調査

松島弘枝

Survey of Phonological and Morphological Similarities between  
Korean and Japanese Kanji Compounds

Hiroe MATSUSHIMA

キーワード：2字漢字単語，韓国語と日本語，形態，音韻，類似性

## 問題と目的

海保（2002）では，韓国語を母語とする日本語学習者（以下，韓国語学習者）は，中国語を母語とする日本語学習者（以下，中国語系学習者）と同じく，漢字圏学習者として位置付けられている。しかし，現在の韓国では，日常生活において漢字はほとんど使用されていない（李，2005；曹，1994）。そのため，韓国語学習者の日本語漢字単語の処理過程は，中国語系学習者とは異なる部分があると推測される。

日本語漢字単語の処理に及ぼす母語の漢字知識の影響を検討した研究の多くは，中国語系学習者を対象としており，韓国語学習者を対象にした研究は未だ少ない。韓国語学習者における日本語漢字単語の処理過程を解明するには，材料要因を厳密に操作・統制する必要がある。特に，韓国語と日本語（以下，韓日）の類似性は重要な属性の一つである。本研究は，漢字語彙の多くを占める2字漢字単語について，韓国語漢字との形態・音韻類似性を調べ，材料選定に役立つ基礎資料を提供することを目的とする。

韓国語母語話者を対象とした韓日の形態・音韻類似性調査としては，1字漢字を扱った松島・松見（2014）がある。2字漢字単語については，韓日の音韻類似性を調査した中松（2004）がある。しかし，韓国語の漢字では，正字体が用いられており（志部，1989），漢字の形態が韓日で異なるものがあるため，韓日の形態類似性についても調査の必要がある。また，中松（2004）の韓日の音韻類似性調査には，次の問題点がある。1点目は，調査対象語が韓日の同根語<sup>1)</sup>のみということである。そのため，韓日の同根語と非同根語の処理の違いについて検討する際の材料選定には使用できない。2点目は，日本語学習歴のある韓国語学習者を評定者としており，調査に

おいて日本語の漢字知識が介入している可能性が排除できないことである。

以上のことから，本研究では，韓日の同根語・非同根語双方を含めた日本語2字漢字単語を用いて，韓日の形態・音韻類似性調査を行う。また，形態・音韻類似性の評定者として，日本語の未習者と既習者の2群を設定する。日本語の漢字知識の有無によって，類似性の評定値が異なる単語は，実験材料としては適切性を欠くので，それらを除外できるよう資料を提供する。

## 形態類似性の調査（調査1）

**目的** 日本語2字漢字単語の日本語漢字表記と韓国語漢字表記における形態類似性の7段階評定値を得ることである。

**調査参加者** 日本語未習者は，韓国の大学に在学中の日本語専攻以外の韓国語学生20名（男性17名，女性3名）であった。日本語学習経験，日本滞在経験はなかった。日本語既習者は，日本国内の大学，大学院に在学中の韓国語留学生20名（男性5名，女性15名）であった。日本語既習者は全員が日本語能力試験1級（N1）または日本留学試験（日本語）300点以上を取得していた。

**材料** 国際交流基金（2002）の日本語能力試験1，2級語彙表にある2級以下の2字漢字単語から，「工場」のように読みが複数ある単語を除外し，前漢字・後漢字とも2級以下の漢字である単語から654個を選定し，調査材料とした<sup>2)</sup>。654個を，A4縦型用紙1枚に60個ずつ（1段に30個ずつ2段）配置した。1つの単語につき，左側に日本語漢字（明朝体），右側に韓国語漢字（Batang Che）を記した。各漢字の右側に7段階評定尺度（1：전혀 비슷하지 않

だ、全然似ていない～7: 아주 비슷하다, 非常に似ている)を配置し、いずれかの評定値に○がつけられるようにした。

**手続き** 未習者、既習者ともに小集団形式または個別形式で調査を行った。教示文は韓国語で表記し、それを読ませた。具体的な内容は以下の通りであった。

「左側にある漢字(日本語漢字)と右側にある漢字(韓国語漢字)の、形態上の類似性を7段階で評定してください。例えば、「文句 文句」の形態が非常に似ていると考えるならば、7に○を付けます。また、「渋滞 澁滞」の形態が全然違うと考えるならば、1に○を付けます。1から7の数字のいずれか1つに必ず○を付けてください。評定時間は1組の漢字につき3秒～5秒です。」

教示内容の徹底を確認後、練習ページにある10個の調査単語について評定する練習試行が行われ、その後、本試行に入った。約半数(300組)の評定が終わった時点で、3分間の休憩がとられ、休憩後、残りの約半数(354組)について、再び評定させた。

## 音韻類似性の調査(調査2)

**目的** 日本語2字漢字単語の日本語漢字音と韓国語漢字音における音韻類似性の7段階評定値を得ることである。

**調査参加者** 日本語未習者は、韓国の大学に在学中の日本語専攻以外の韓国人学生23名(男性15名、女性8名)であった。日本語学習経験、日本滞在経験はなかった。日本語既習者は、日本国内の大学、大学院に在学中の韓国人留学生20名(男性6名、女性14名)であった。日本語既習者は全員が日本語能力試験1級(N1)を取得していた。未習者、既習者ともに、形態類似性の調査には参加していなかった。

**材料** 形態類似性の調査で使用した654個の単語の中から435個を用いた<sup>3)</sup>。1つの単語につき、韓国語漢字音のハングル表記と、その右側に7段階評定尺度を記した。その他の条件は、形態類似性の調査と同様であった。聴覚呈示用の日本語漢字音は、関東地方出身の標準語話者(女性)の音声を録音したものを編集して使用した。

**手続き** 未習者は集団形式で、既習者は小集団形式または個別形式で調査を行った。教示文は韓国語で表記し、それを読ませた。具体的な内容は以下の通

りであった。

「今から日本語漢字音を聞きます。聞こえてきた音と、調査用紙に記された韓国語漢字音がどれくらい類似しているかを7段階で評定してください。」

韓国語漢字音は日本語漢字を韓国語音に変換したものです。韓国語と日本語には同じ漢字を使い、意味も同じ単語がたくさんありますが、全部が同じではありません。そのため、調査用紙に記された韓国語漢字音に韓国語で意味を成さないものもあります。本調査では、意味については問題にしませんので、聞こえてくる音と調査用紙に記された韓国語漢字音だけを比べて評定してください。例えば、聞こえてくる音(日本語漢字音)“chawan”と、調査用紙の韓国語漢字音“차완”の音韻が非常に似ていると考えるならば、7に○を付けます。また、聞こえてくる音(日本語漢字音)“madoguchi”と、調査用紙の韓国語漢字音“창구”の音韻が全然違うと考えるならば、1に○を付けます。単語の音声は、5秒ごとに1つが聞こえてきます。音声を聞きながら、1から7の数字のいずれか1つに必ず○を付けてください。順番に出てくる一つひとつの音声を聞き逃さないように集中して回答してください。万一聞き逃した場合は、その漢字については評定せず、次の漢字音に集中してください。」

教示内容の徹底を確認後、練習ページにある10個の調査単語について、聴覚呈示される日本語音に合わせて評定する練習試行が行われ、その後、本試行に入った。約半数(240組)の評定が終わった時点で、3分間の休憩がとられ、休憩後、残りの約半数(195組)について、再び評定させた。

## 結果

調査1、2で得られた形態・音韻類似性の平均評定値と標準偏差を資料に示す(本稿において資料として提示するのは、調査1、2の両方で対象となった単語のみとする)。資料における単語の提示順序は、未習者による形態類似性の平均評定値が高いものから低いものへと並べられている。

調査1で得られた654個の評定値のうち、韓国語漢字の表記が違っていた「失礼」を除く653個の形態類似性の平均評定値は、未習者が5.96(標準偏差

1.54) であり、既習者が6.13 (標準偏差1.48) であった。調査2で得られた435個の音韻類似性の平均評定値は、未習者が3.07 (標準偏差1.88) であり、既習者が3.17 (標準偏差1.91) であった。各単語における未習者と既習者の平均評定値の違いは、調査1で最大2.05、調査2で最大2.31であった。

各単語について、未習者、既習者の平均評定値がともに4.00以上のものを類似性高群 (以下、高群)、4.00未満のものを類似性低群 (以下、低群) として分類したところ、形態類似性の高群は549個、低群は82個であり、音韻類似性の高群は136個、低群は282個であった。

調査1において、未習者と既習者の平均評定値が2群に分かれたのは22個であった。そのうち、未習者の評定値の方が高かったのは、「算数」、「危険」、「少数」、「遅刻」、「発表」、「残念」、「発達」、「発車」、「権利」、「税関」の10個で、未習者の評定値の方が低かったのは、「温度」、「空気」、「気分」、「満足」、「輸入」、「音楽」、「苦勞」、「科学」、「灰色」、「社長」、「地区」、「文学」の12個であった。調査2において、未習者と既習者の平均評定値が2群に分かれたのは17個であった。そのうち、未習者の評定値の方が高かったのは、「車道」、「進歩」、「処理」、「家内」、「表紙」、「寝台」、「習慣」、「製造」の8個で、未習者の評定値の方が低かったのは、「教育」、「容易」、「全般」、「容器」、「信用」、「少年」、「参加」、「利用」、「関連」の9個であった。このように、未習者と既習者の平均評定値が2群に分かれた単語については、実験材料の選定の際に慎重に取り扱う必要があろう。

## 注

1) 同根語とは、言語学的に同一語族の言語間で使用される、形態・音韻・意味が類似する単語のことである。韓国語と日本語は同族言語であるとは言えないため、厳密には同根語は存在しない。しかし、両言語には形態が類似し、意味がほぼ同じという漢字語彙が多数存在するため、本研究では、

韓国語と日本語の翻訳同義語を漢字表記した場合に同じ漢字が用いられるものを「同根語」、同じ漢字が用いられないものを「非同根語」とする。

2) 「失礼」は、調査用紙の韓国語漢字の表記が違っていることが調査後に判明したため、除外した。また、「昨日」は、「キノウ」と「サクジツ」の2つの音読みがあり、選定条件から外れることが調査後に判明した。

3) 調査参加者の負担を軽減させるため、調査対象語を減らした。「立場」、「葉書」のように、訓読みの同根語については数が少ないため、意図的に抽出した。

## 引用文献

- 李 漢燮(2005).「最近の韓国における漢字事情」『日本語学』24, 6-15.
- 海保博之(2002).「漢字の指導」海保博之・柏崎秀子(編著)『日本語教育のための心理学』第7章(pp.111-121), 新曜社
- 国際交流基金(2002).『日本語能力試験 出題基準改訂版』凡人社
- 志部昭平(1989).「漢字の用い方(韓国語との対照)」加藤彰彦(編)『講座 日本語と日本語教育9 日本語の文字・表記(下)』(pp.194-212), 明治書院
- 曹 喜澈(1994).「漢字系学習者のための漢字教育のあり方 韓国人の日本語学習者を中心に」『世界の日本語教育』4, 61-73.
- 中松絵美(2004).「日本語-韓国語の音韻類似度が日本語漢字熟語の意味処理に及ぼす影響-日本語学習者を対象とした意味判断課題による検討-」『広島大学大学院教育学研究科 平成15年度修士論文』(未公開)
- 松島弘枝・松見法男(2014).「日本語1字漢字における韓国語漢字との形態・音韻類似性調査」『広島大学 日本語教育研究』24, 9-16.







